

設置計画履行状況等調査の結果（令和5年度）における留意事項等への対応について
（社会情報デザイン学科）

令和5年度に完成年度を迎えており、令和6年度の履行状況等報告に関しては提出を求められなかったが、付された指摘事項に対する今後の対応に関して、情報公開する。

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の実施計画
届出時 (平成31年)	該当なし		
設置計画履行状況 調査結果 (令和2年度)	入学者選抜の適切な実施等を通じ、入学定員超過の改善に努めること。	【A C】 指摘事項 (改善) 適切な入学者数とするため、実績等から各入試の募集定員を定めているが、令和2年度は新型コロナウイルスが蔓延し始めた状況下での入試ということもあり、歩留まりが読み切れず定員超過となった。 令和3年度入試は、超過是正を念頭に置き取り組んだ結果、定員130名に対し入学者104名となった。単年度では定員割れとなっているが、平均の入学定員超過率は1.06となり、適切な数値となっている。(4) (5)	履行済 令和4年度入試に向けて、適切、かつ安定した入学者数を目指し、継続して適切な定員確保に努めた。 (4) (5)
設置計画履行状況 調査結果 (令和5年度)	教育内容の充実等を通じ、収容定員未充足の改善に努めること。	【A C】 指摘事項 (改善) 令和5年度入試は、入学定員130人に対して入学者数50人であり、定員確保には至らなかった。設置初年度は定員を大幅に超過したものの、翌年度以降、入学定員確保には至っていない。 本学科の知名度や信頼の基盤が確立される前にコロナ禍に突入し、定員確保の対策を講じながら募集活動を行ったが、結果に結びつかなかった。 令和2年度改組の検証とその完成年次以降の対応策について検討する組織を立ち上げ、検討を行い、令和6年度から収容定員を減じる学則変更を行った。	履行済 何を学ぶのが明確になるよう、専門科目の修得を通じ目指す能力を明確化したユニットに整理するなど令和6年度からの教育課程の見直しを行い、定員確保に努める。